

なぜ？ 8/6広島8/9長崎 被爆80年 「非核兵器」抜きの平和都市宣言



碧南市は6万円で敷地のはしっこトイレ横に、使いまわしの看板を張替えます

←トイレ横、6万円の使いまわし広告塔

広告塔を各所に

碧南市は8月5日～31日まで、文化会館で「歴史資料収蔵展」を開催します。核兵器廃絶に向けての能動的な企画や取り組みを求めました。

刈谷市、知立市では原爆パネル展を開催。碧南市は8月5日～31日まで、文化会館で「歴史資料収蔵展」を開催します。核兵器廃絶に向けての能動的な企画や取り組みを求めました。

パネル展、映画会など企画強化を

刈谷市、知立市では原爆パネル展を開催。碧南市は8月5日～31日まで、文化会館で「歴史資料収蔵展」を開催します。核兵器廃絶に向けての能動的な企画や取り組みを求めました。

今年長崎市で、平和市長会議の総会が8月7日（木）～10日（日）に、行なわれますが、碧南市長は不参加です。担当者は来年は出席予定と言いました。子どもたちへの教育は今ほど求められているときはありません。

非核・平和教育の推進を

第一に、学校で戦争、被爆の悲惨さや実相を取り組みを求め、ヒロシマ・ナガサキへ小中学生の派遣を求めました。

平和行進実行委員会が申し入れ

7月29日、碧南・高浜網の目平和行進実行委員会、碧南市に対して4項目の平和行政の取り組みを求めて市の担当者に申し入れしました。参加者は7人で、日本共産党山口はるみ議員も同席しました。

自衛隊に若者名簿を提供しないで

碧南市は、国が求めるままに18歳の若者名簿を「宛名シール」にして自衛隊に提供しています。2015年の「戦争法」強行採決以来、国内の基地で米兵との実弾演習も行われ「戦争動員」が現実化しています。

赤紙を二度と配らないが市の責務

国のアメリカいいなり、自衛隊への忖度に従って地方自治体として自立した立場が取れないければ、ズリズリ引きずられ「赤紙配布」の道へ舞い戻ることになります。

見える「ドランプの影」

非核兵器」を明記出来ず 核兵器の抑止力「核の傘」



非核自治体宣言数 (2024. 5. 16現)		
市町村数	1,724 / 1,667	(97%)
市	792 / 753	(95%)
町	743 / 669	(90%)
村	183 / 160	(87%)
特別区 (東京23区)	23 / 20	(87%)
2024年1月1日現在、日本の自治体数は1,794です。都道府県：47		

愛知県知立市 平和教育に関する取組を実施

2025年3月31日

知立市は、平成22年6月に平和都市宣言を行い、それを記念して広島市から「被爆アオギリ二世」（広島で被爆したアオギリから採取した種から育ったアオギリ）を譲り受けました。市内全小中学校に植えたこの木を、各校は平和の象徴として大切に育てています。

また、令和4年より市内小学6年生を主な対象に、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館被爆体験伝承者によるオンライン一斉授業を行い、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ貴重な機会としています。

【平和市長会議のホームページから】

平和憲法を貫こう

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。」の日本国憲法前文の具現化こそ行政と市民の立場です。会のみならず、今後回答を受け取り8月25日に懇談を予定しています。



デマと差別 蔓延許さない 各界有志がアピール



写真

(写真) 記者会見する「デマと差別が蔓延する社会を許しません」の(右から)太田、畠山、松尾の各氏
＝28日、参院議員会館

弁護士など12人

参院選挙で自民党や参政党が外国人差別や女性差別を訴えて議席を得たことに対し、弁護士や音楽プロデューサーら各界の有志12人が7月28日、国会内で記者会見を開き、「デマと差別が蔓延(まんえん)する社会を許しません」とのアピールを発表しました。アピール賛同署名を近日中に開始し、署名を全政党に届けます。臨時国会の開会にあわせて都内で街頭宣伝を行う予定です。

参政党の女性差別発言に抗議

会見で、弁護士の太田啓子さんは、参政党代表による選挙中の女性差別発言に対する緊急抗議行動が3日間で全都道府県200カ所以上で取り組まれたと報告。選挙後も、市民の抗議の意思を可視化したい」と語りました。

ヘイトスピーチ許すな

音楽プロデューサーの松尾潔さんは、在日韓国人朝鮮人に対するヘイトスピーチ(差別扇動)を挙げ、「言っても人を深く傷つける。それがヘイトの本質だ」と指摘。扇動ではなく、共感と誠実さの力で変えていく民主主義をあきらめてはいけなさと強調しました。ピースボート共同代表の畠山澄子さんは、すでに日本社会の生活圏、経済圏は多文化の人々が支えているとして、当事者は身の危険を感じて声を上げられない状況だ。私が声を上げ続ける」と声を震わせて訴えました。

政府も デマと差別許さぬ」姿勢を

デマや差別は戦争への道

アピール呼びかけ人の6人がメッセージを寄せました。作家の村山由佳さんは、自著の無政府主義者の伊藤野枝の評伝小説の一節を引き「虐げられるものの中へ、ためらわずに進んでいきたい」と表明。DJの沖野修也さんは「デマと差別に断固反対し、その最悪の組み合わせを僕は決して許さない」と訴え、小説家の中島京子さんは「政府も公式に、差別扇動は許されないと発表してほしい」としました。

アピールは、デマなどにより外国人を敵視する排外主義の拡大に強く憂慮する」と表明。一部の政治家によるデマや差別的発言で民主主義を壊し、戦争の道に進むことを許さないとして、市民に向けて「立ち上がろう」と呼びかけました。

<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。

2024年分総額315億円余
2025年1月17日 21時28分
日本共産党は受け取っていません

交付予定の政党交付金(試算)

自民	136億3,900万円	れいわ	9億1,600万円
立民	81億7,100万円	参政	5億1,600万円
維新	32億900万円	社民	2億8,300万円
公明	26億4,700万円	保守	1億7,200万円
国民	19億7,900万円		

日本共産党碧南市議団



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

大軍拡・増税許すな

へきなん 19 行動

8月19日(火曜日)

午前11時～12時

ピアゴ碧南東店

碧南市東浦町6-17

(日進小学校南)

